

竜田駅西側復興まちづくりだより 第3号

平成30年9月発行

インフォメーション

1. 竜田駅西側復興まちづくり推進に係る第1回ワークショップが開催されました
2. 参加された町民の方々からの主な意見について

1. 竜田駅西側復興まちづくり推進に係る第1回ワークショップが開催されました

平成30年7月21日(土) 檜葉町役場にて、上井出地区の方をはじめ、駅を利用する方を中心に竜田駅西側復興まちづくり推進に係る第1回ワークショップを開催しました。

今回は、『竜田駅西側復興まちづくり計画』で目指す将来像から駅前広場等の活用方法や活用に必要な整備をテーマについて意見交換を行いました。

「自分たちのまちを自分たちでよくするための取組み」を皆で考えようと、今年度は4回程度の開催を予定しています。



写真：第1回ワークショップの様子

◆竜田駅西側復興まちづくり計画について

昨年度、全5回のワークショップを開催し、町民のみなさまより頂いた意見を踏まえ、平成30年3月に『竜田駅西側復興まちづくり計画』を策定しました。

今回のワークショップでは本計画で位置づけられた、「昔ながらのにぎわいゾーン」と「駅前交流ゾーン」において、具体的な活動内容や整備の方向性について多くの意見やアイデアが出されました。



皆さんの意見は裏面参照

図：竜田駅西側復興まちづくり（一部抜粋）

2.参加された町民の方々からの主な意見について

ワークショップにて寄せられたご意見について、その一部をご紹介します。

◇ 竜田駅西側 地域全体 について	全体に関する 取組みや方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅東側の近未来的なまちに対し、駅西側は「ほっこりとしたまち」の雰囲気にしたい ● 町内に分散する魅力を紹介する魅力マップの作成（地域の人が案内すれば、より丁寧になりそう！） ● 子どもたちの元気を復興のシンボルにしたい（日常的な学習塾やお祭り時の子ども神輿等） ● 駅西側の活用を継続的に考えるボランティアの住民団体を募り、検討するべき ● 朝のラジオ体操からはじめよう！ ● 多様なソフトの取組みを行うためには、シンプルなハード整備の方が使い勝手がよい
◇ 駅前交流 ゾーン について	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 広場空間を活用した軽トラ市や防災等のイベント ● 休憩所や待合せにも使える屋根付きのたまり場
◇ 昔ながらの にぎわい ゾーン について	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存家屋を活かした和風な雰囲気 ● 歩いていて楽しい、歩きたくなるような小道 ● 趣味を表現する場としてのカフェ・ギャラリー ● 地域のシンボルである現駅舎を一部だけでも移築させ、地域のたまり場や観光案内所などとして活用（管理・運営・協力体制の構築や活用頻度等については今後も考えていく必要がある）
	必要な整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩いてみたくなるような和風な雰囲気な仕上げ ● 自動車の走行速度を抑制した歩きやすい道路環境 ● 地域のたまり場（駅舎活用・ポケットパーク等）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました！

「自分たちの町は自分たちで発展させていこう！」そんな想いを参加者のみなさまから感じました。今後も榎葉町では、竜田駅周辺のまちづくりを住民のみなさまと力を合わせながら、みんなで推進していきたいと考えています。

次回は9月19日(水)ごろ開催予定です。多くの方のご参加お待ちしております。

【問い合わせ先】

榎葉町 建設課 都市計画係 担当：渡邊・松本

〒979-0696 福島県双葉郡榎葉町大字北田字鐘突堂 5 番地の 6

TEL:0240-23-6106 FAX:0240-25-1234 HP:<http://www.town.naraha.lg.jp/>

誰でも参加可能だよ。
みんな誘って参加してね～

